



1月の園だより

2024年1月4日

ひかり認定こども園 ゆづり保育園

新年あけましておめでとうございます。年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか。ご家族と一緒にゆっくり過ごすお正月は、子どもたちにとっても幸せで楽しい時間だったと思います。エネルギーを充電したところでいよいよ3学期ですね。今学期は今年度の締め括りの学期となります。一年間のお子さんの成長を保護者の方と一緒にしみじみながら過ごしていきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

先月はクリスマスお祝ひ会にお越しいただき、ありがとうございました。会が始まる前はホールにまで大きな泣き声が聞こえ、どうなるかと心配をしましたが、いざ本番となったら泣き止み、全員が舞台上に上がることができました。また、大抵の場合は、保育者が横についていないと…という光景があるのですが、誰一人援助することなく自分で立ち、お遊戯をしている姿に感動を覚えました。子どもの持っている力を目の前にし、子どもを信じることの大切さを再認識しました。クリスマス行事を通して、小さいながらもまた一つ大きく成長を感じさせてくれた子どもたちでした。あと3ヶ月でどんな姿を見せてくれるのかとても楽しみです。今年も引き続き保護者の皆様と手を携えて子どもたちの成長を見守っていききたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

クラスより (前月の様子)

0歳ひよこ組

戸外に行く準備をする時に嬉しそうに靴下を取りに来るひよこ組さん。自分のマークも覚え自ら手に取っています。帽子を逆さに頭に乘せたり、足に靴下を合わせたりする姿が微笑ましいです。公園に行く時は保育者が「しゅっぱ一つ！」と言うと、片手をあげて「おー！」と言ひ、「バスにのって」を歌うと、「ごーごー!」「3、2、1」とノリノリで一緒に歌ってくれます。公園では枯葉を集めて思い切り上に飛ばしたり、小石を両手いっぱい集めたりと、夢中になって楽しむ姿が見られます。戸外から帰った時も靴下を自分で脱いで自分のマークの場所に入れる姿や保育者に渡してくれる姿があり、頼もしいひよこ組さんです。手洗いやズボンの着脱も少しずつ自分でやろうと挑戦しています。やりたい気持ちを見守りながら一つずつできることが増えていくよう関わっていききたいと思ひます。今年もよろしくお願ひいたします。



1歳うさぎ組

12月は暖かい日が多く公園や園庭での遊びを楽しみました。寒い日もたくさん走って元気よく遊ぶうさぎ組さんでした。上着を着て出かけることもありましたが、自分の上着を嬉しそうに着る子どもたち、「パパママが買った!」と自慢する姿が可愛かったです。クリスマスお祝ひ会では、可愛く変身した羊の姿で踊る子どもたちが輝いて見えました。練習ではなかなか踊ることができなかつたり、立ち位置の線の上に立つことができなかつたりすることがありましたが、本番ではパパママに見てもらいたい気持ちもあり、見事上手に踊ることができました。クリスマス行事を通してたくさん成長したうさぎ組さん、様々なことを経験し、大きな成長を促せるように努めていききたいと思ひます。今年もよろしくお願ひいたします。



2歳りす組

りす組で過ごす時間も残り3ヶ月となりました。これまで様々な経験を通してたくさんの成長を見せてくれた子どもたち。食事ではトレイごとに配膳し三角食べを意識して食べ進めたり、「もう、りす組さんだから、きれいに食べる!」と食べこぼしに気をつけながらエプロンを付けずに食べたり、生活面でもお兄さん、お姉さんの姿が見られます。また、お友だちとの関わりが増えている中で、ただ一緒に遊ぶだけでなく、お互いを注意し合ったり、トラブルが起きた際にお友だちの思ひを代弁して仲介するなど、今までにないやり取りができるようになってきました。この3か月間も保護者の方と一緒に子どもたちの成長を見守りながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思ひます。今年もよろしくお願ひいたします。

1月の予定

- 4日(木) 保育開始
- 10日(水) お誕生会
- 16日(火) 避難訓練
- 22日(月)23日(火) 身体測定

日程変更の際は事前にお知らせいたします。



1月生まれのお友だち

お誕生日おめでとう!

3学期は今年度の締めくくりと、進級に向けて…ということ意識していきます。

年度末の時期に相応しい姿。学年・個々それぞれの目標に到達しているだろうか。また、それによって新年度のスタート時には子どもたちが希望を持って1つ上の学年へと進めるようにと促していきたいと思ひます。ご家庭と園との連携が不可欠ですので今後ともご協力をよろしくお願ひいたします。



1月の歌

ゆきのこぼうず
シャベルでほい
すうじのうた



お迎え時などに園での様子を聞く中で、「家ではそんなことないのにな…」ということがよくあると思います。ご家族の中で安心して過ごせる空間と、同じ年頃の子もたちと長時間大勢で過ごすとは環境が大きく違います。今回は、園で0～2歳児によく起こる“かみつき・ひっかき”について取り上げてみたいと思います。

0、1、2歳頃はまだ話すこと自体ができなかったり、語彙が少ないため、言葉で自分の思いを伝えることができず“かみつき”“ひっかき”という行動で表そうとします。



かみつきが起きたときの子どもの思いを読み取ると…



- 歯の生え始めでかゆい。ムズムズする。
- 目の前に出てきた手や顔に「なんだろう…?」「口に入れて感触を試してみよう…」という興味。
- 他の子の持っているものが「ほしい」「いいな」という思い。
- 遊んでいた玩具を触られそうになり「ぼくの・私の!」という感情。
- 嫌なことがあったり、上手くいかないもどかしさ。
- 「好き!」「一緒に遊びたい!」のに、受け入れてもらえなかったり相手への興味の示し方や関わり方が分からない。
- 心の中にある思いを上手に言葉で伝えられない苛立ち。
- 何かの原因で「寂しい」「不安」「環境の変化」などで、不安定な精神状態にある。



園では子どもたちにこんな風に接しています



この頃のかみつき・ひっかきなどの行為は、相手を傷つけようという思いからではなく、成長過程の中で、自分の気持ちを言葉で表現できずに、思いが行為となってしまうことが多く、個人差はありますが、言葉の発達とともに次第に少なくなっていきます。

園ではどんなに小さなお子さんにも、一つ一つ言葉かけをしながら接し、「〇〇したかったんだね。」「貸してだね。」というように子どもの気持ちを汲み取り、代弁し、保育者に思いを分かってもらい、安心や満足感を得ながらもその発達時期にあったルールを知る。また、関りの中で、喃語、簡単な言葉、ジェスチャーなどによって相手に伝わることの喜びや楽しさを感じることができるよう促しています。



未然に防げるように留意しています



かみつきやひっかきの行為はいつ起こるかわかりません。常に子どもたちの様子を見ながら留意してはいますが、時には間に合わないこともあります。子どもたちの気持ちにしっかり寄り添い、出来る限り未然に防げるように配慮していきたいと思っています。



“かみつき”“ひっかき”等、怪我が起きてしまったときの対応



怪我をしてしまったお子さんには、まず傷口を洗い流し、次に冷却します。怪我の状態によっては消毒などを行います。

ゆづりでは、お友だちを傷つけてしまう行為があったときに、怪我をしてしまったお子さんについては、軽傷であればお迎えの際にお伝えをしています。重症ということは過去にありませんが、その際は直ちにご連絡いたします。また、怪我をさせてしまったお子さんについてもお伝えをいたします。

“かみつき”“ひっかき”等が頻繁に起こったり、普段とは様子が違うという時には、園での状況をお伝えするに加えて、ご家庭での様子をお聞きすることがあります。お母様の妊娠やお引越、その他にもご家庭で何か環境の変化があったりすると、子どもは敏感に不安定な様子を見せることが多くあります。どうぞ小さなことでもお聞かせください。また、怪我防止のため爪はこまめに切り、切る際は角が鋭くならないようご配慮をお願いいたします。



♡子どもの本当の気持ちを受け止めて!♡



乳幼児にとって、ご家庭で親御さんに甘えながらリラックスした中で穏やかに過ごす姿と、絶対的な信頼で繋がった親元を離れて、長時間集団の中で過ごす園での姿とは異なって当たり前です。幼いながらに園では緊張や不安、他者との関りの中での葛藤を少なからず抱えて生活をしています。まずはそのことを心に留めていただいて、このような時期にお子さんをお預かりするにあたって保護者の方との連携は欠くことができません。お子さんについての情報を共有しながら、小さな心の思いに気付き、受け止め、健やかな育ちをご家庭と園双方で見守っていきたく思いますので、今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

お休みの日にはお子さんと是非スキンシップをたくさんとってあげてください。この年齢のお子さんは特別なところに行かなくても、お家の中や公園などで、大好きなパパママと一緒に過ごす時間から満足感を得られ情緒の安定に繋がります。